

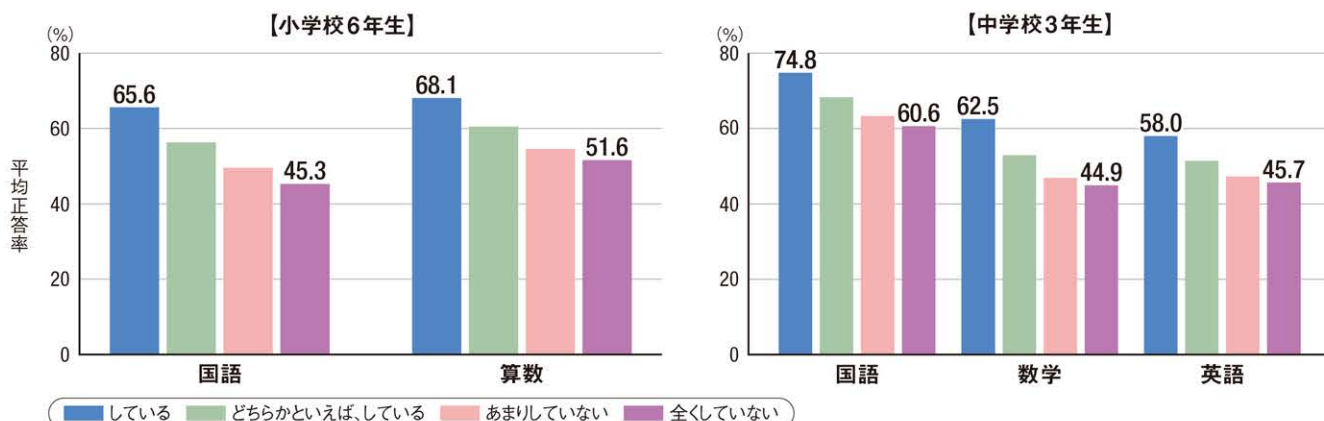
家庭での食育の推進

子供の基本的な生活習慣

- 朝食を食べないことがある小学校6年生は4.6%、中学校3年生は6.9%
(出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」(令和元(2019)年度))
- 毎日朝食を食べる子供ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向
- 毎日朝食を食べる子供ほど、全国体力調査の体力合計点が高い傾向



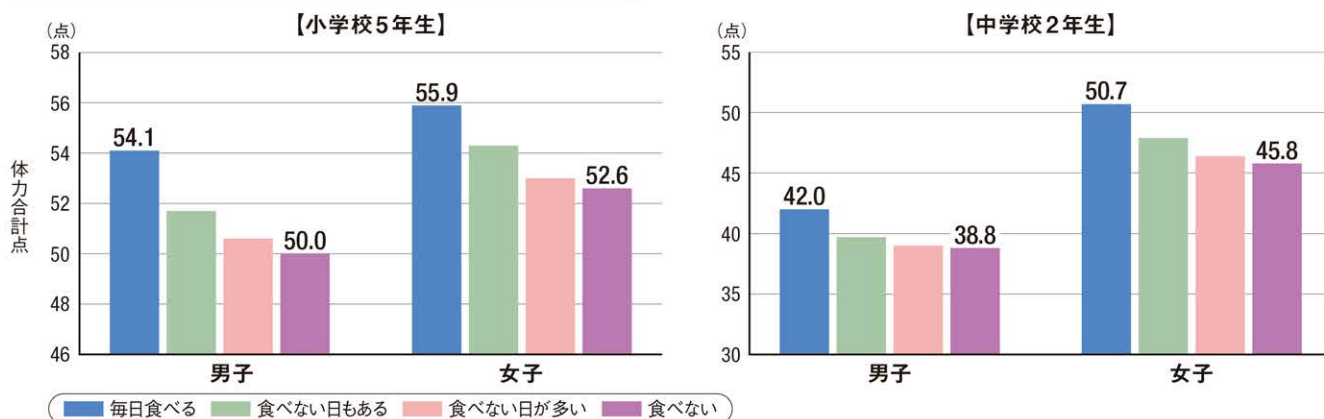
朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係



資料:文部科学省「全国学力・学習状況調査」(令和元(2019)年度)

注:(質問)あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。当てはまるものを1つずつ選んでください。「朝食を毎日食べている」
(選択肢)「している」、「どちらかといえば、している」、「あまりしていない」、「全くしていない」

朝食の摂取と全国体力調査の体力合計点との関係



資料:スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(令和元(2019)年度)

注:(質問)「朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)」
(選択肢)「毎日食べる」、「食べない日もある」、「食べない日が多い」、「食べない」

- 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会では、幼児期から「早寝早起き朝ごはん」を始めとした規則正しい生活習慣について楽しみながら理解し、実践してもらうことを目的として、平成30(2018)年度に作成した絵本「みんなで にっこり! あさごはん」に続いて、シリーズ第3弾となる絵本「わくわく げんきに あそぼう!」を作成



絵本「みんなで にっこり! あさごはん」
©やなせスタジオ



絵本「わくわく げんきに あそぼう!」
©やなせスタジオ

子供・若者や保護者に対する食育

- 厚生労働省では、平成31(2019)年に改定された「授乳・離乳の支援ガイド」の内容を踏まえ、一般向けに、授乳や離乳について分かりやすく記載したリーフレットを作成



授乳スタートガイド



離乳スタートガイド

column

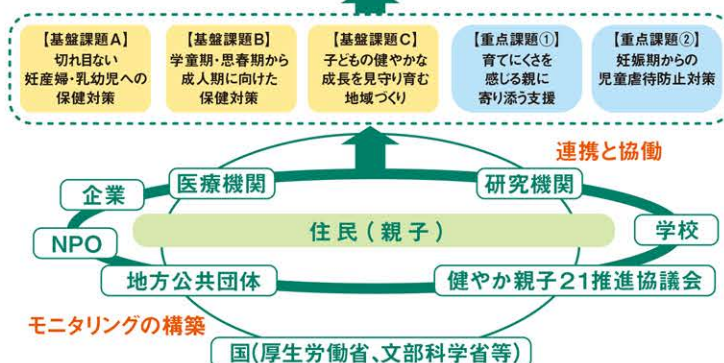
「健やか親子21(第2次)」の中間評価

- 「健やか親子21」は、20世紀の母子保健の取組の成果を踏まえ、関係者、関係機関・団体が一体となって母子保健に関する取組を推進する国民運動計画
- 令和元(2019)年度は、「健やか親子21(第2次)」の中間評価を実施し、目標とする52指標のうち34指標が改善
- 一方、子供の健康や食生活に関しては、「朝食を欠食する子どもの割合」が策定時より悪化するなど、食生活等の生活習慣に関する課題が明らかに。

「健やか親子21」とは

- 関係者が一体となって推進する母子保健の国民運動計画
- 21世紀の母子保健の取組の方向性と目標や指標を示したもの
- 第1次計画(2001年～2014年)・第2次計画(2015年度～2024年度)

「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現



「健やか親子21(第2次)」イメージ図

もっと詳しく知りたいときは… ➡ 令和元年度「食育白書」P52、53

- 内閣府では、平成29(2017)年度から、子育て世代の男性の家事・育児等の中で、料理への参画促進を目的とした「“おとう飯”始めよう」キャンペーンを開始
- 令和元(2019)年9月からは、男性の料理参画を促進する「“おとう飯”語録」を発信



「“おとう飯”始めよう」キャンペーンロゴマーク

家族や友人と共(トモ)に食(ショク)事を ～トモショク Project～

事例

【東京都】NPO法人ファザリング・ジャパン

- ▶NPO法人ファザリング・ジャパンでは、令和元(2019)年6月にトモショクProjectを立ち上げ
- ▶家族や地域の人など、誰かと食事を共にする「共食」を「トモショク」と名付け、ワーク・ライフ・バランスの充実や働き方改革等につなげていくことを目指す。
- ▶企業で料理実演やワークショップ等を行い、実演した料理を自宅で作り撮影して、画像と感想を提出するよう呼びかけた結果、多くのフィードバックを得た。
- ▶学長名で「トモショク」に取り組む宣言を行った大学や「パパママスクール」の一環としてワークショップを開催する地方公共団体等、様々な主体による取組が進む。



働きながら、家族がトモに食事ができる世の中を創るプロジェクト
Fathering Japan
NPO法人ファザリング・ジャパン

トモショク Project
ロゴマーク



天候が悪く、どこにもでかけられなかったため、3歳の娘とハンバーグを作り、ランチに食べました。
妻と娘は大満足でした。

フィードバックの一例

もっと詳しく知りたいときは… ➡ 令和元年度「食育白書」P58